

## 教育課程と教員一覧

平成29(2017)年度開講(予定)

| 分野                                     | 授業科目名         | 担当教員名                        | 学年  | 単位数 | 授業科目名           | 担当教員名                  | 学年  | 単位数 |
|--|---------------|------------------------------|-----|-----|-----------------|------------------------|-----|-----|
| 英語学<br>分<br>野<br>科<br>目                | 英語学特論 I A     | 時崎 久夫<br>(平成29年度休講予定)        | 1・2 | 2   | 英語学演習 II B      | 濱田 英人<br>(平成29年度休講予定)  | 1・2 | 2   |
|  | 英語学特論 I B     | 時崎 久夫<br>(平成29年度休講予定)        | 1・2 | 2   | 英語学演習 III A     | 後藤 善久<br>(平成29年度休講予定)  | 1・2 | 2   |
|  | 英語学特論 II A    | 濱田 英人                        | 1・2 | 2   | 英語学演習 III B     | 後藤 善久<br>(平成29年度休講予定)  | 1・2 | 2   |
|  | 英語学特論 II B    | 濱田 英人                        | 1・2 | 2   |                 | 濱田 英人                  | 2   | 2   |
|  | 英語学特論 III A   | 後藤 善久                        | 1・2 | 2   | 英語学特殊演習 A       | 後藤 善久                  | 2   | 2   |
|  | 英語学特論 III B   | 後藤 善久                        | 1・2 | 2   |                 | 時崎 久夫                  | 2   | 2   |
|  | 英語学演習 I A     | 時崎 久夫                        | 1・2 | 2   |                 | 濱田 英人                  | 2   | 2   |
|  | 英語学演習 I B     | 時崎 久夫                        | 1・2 | 2   | 英語学特殊演習 B       | 後藤 善久                  | 2   | 2   |
|  | 英語学演習 II A    | 濱田 英人<br>(平成29年度休講予定)        | 1・2 | 2   |                 | 時崎 久夫                  | 2   | 2   |
| 英米文学<br>分<br>野<br>科<br>目               | 英米文学特論 I A    | 佐藤 美希<br>(平成29年度休講予定)        | 1・2 | 2   | 英米文学演習 I B      | 佐藤 美希                  | 1・2 | 2   |
|  | 英米文学特論 I B    | 佐藤 美希<br>(平成29年度休講予定)        | 1・2 | 2   | 英米文学演習 II A     | 豊里 真弓                  | 1・2 | 2   |
|  | 英米文学特論 II A   | 豊里 真弓                        | 1・2 | 2   | 英米文学演習 II B     | 豊里 真弓<br>(平成29年度休講予定)  | 1・2 | 2   |
|  | 英米文学特論 II B   | 豊里 真弓                        | 1・2 | 2   | 英米文学特殊演習 A      | 佐藤 美希                  | 2   | 2   |
|  | 英米文学特論 III A  | ウィリアム・グリーン<br>(平成29年度休講予定)   | 1・2 | 2   |                 | 豊里 真弓                  | 2   | 2   |
|  | 英米文学特論 III B  | ウィリアム・グリーン<br>(平成29年度休講予定)   | 1・2 | 2   | 英米文学特殊演習 B      | 佐藤 美希                  | 2   | 2   |
|  | 英米文学演習 I A    | 佐藤 美希                        | 1・2 | 2   |                 | 豊里 真弓                  | 2   | 2   |
| 英語教育<br>関<br>係<br>分<br>野<br>科<br>目     | 英語教育特論 A      | (担当者未定)                      | 1・2 | 2   | 言語教育と機器 A       | フリップ・ラドクリフ             | 1・2 | 2   |
|  | 英語教育特論 B      | (担当者未定)                      | 1・2 | 2   | 言語教育と機器 B       | フリップ・ラドクリフ             | 1・2 | 2   |
|  | 英語教育演習 A      | ウィリアム・グリーン                   | 1・2 | 2   | 英語コミュニケーション演習 A | アラン・ボゼア                | 1・2 | 2   |
|  | 英語教育演習 B      | ウィリアム・グリーン                   | 1・2 | 2   | 英語コミュニケーション演習 B | アラン・ボゼア                | 1・2 | 2   |
| ロシア語学<br>分<br>野<br>科<br>目              | ロシア語学特論 I A   | 山田 隆<br>(平成29年度休講予定)         | 1・2 | 2   | ロシア語学演習 IV B    | 高橋 健一郎<br>(平成29年度休講予定) | 1・2 | 2   |
|  | ロシア語学特論 I B   | 山田 隆<br>(平成29年度休講予定)         | 1・2 | 2   | ロシア語学演習 V A     | 山田 隆                   | 1・2 | 2   |
|  | ロシア語学特論 II A  | 高橋 健一郎                       | 1・2 | 2   | ロシア語学演習 V B     | 山田 隆                   | 1・2 | 2   |
|  | ロシア語学特論 II B  | 高橋 健一郎                       | 1・2 | 2   | ロシア語学演習 VI A    | 高橋 健一郎<br>(平成29年度休講予定) | 1・2 | 2   |
|  | ロシア語学演習 I A   | ウラジーミル・ジダーノフ                 | 1・2 | 2   | ロシア語学演習 VI B    | 高橋 健一郎<br>(平成29年度休講予定) | 1・2 | 2   |
|  | ロシア語学演習 I B   | ウラジーミル・ジダーノフ                 | 1・2 | 2   |                 | ウラジーミル・ジダーノフ           | 2   | 2   |
|  | ロシア語学演習 II A  | ウラジーミル・ジダーノフ<br>(平成29年度休講予定) | 1・2 | 2   | ロシア語学特殊演習 A     | 山田 隆                   | 2   | 2   |
|  | ロシア語学演習 II B  | ウラジーミル・ジダーノフ<br>(平成29年度休講予定) | 1・2 | 2   |                 | 高橋 健一郎                 | 2   | 2   |
|  | ロシア語学演習 III A | 山田 隆<br>(平成29年度休講予定)         | 1・2 | 2   |                 | ウラジーミル・ジダーノフ           | 2   | 2   |
|  | ロシア語学演習 III B | 山田 隆<br>(平成29年度休講予定)         | 1・2 | 2   | ロシア語学特殊演習 B     | 山田 隆                   | 2   | 2   |
|  | ロシア語学演習 IV A  | 高橋 健一郎<br>(平成29年度休講予定)       | 1・2 | 2   |                 | 高橋 健一郎                 | 2   | 2   |
| ロシア文学<br>分<br>野<br>科<br>目              | ロシア文学特論 I A   | エドアルド・ヴラーソフ<br>(平成29年度休講予定)  | 1・2 | 2   | ロシア文学演習 I B     | エドアルド・ヴラーソフ            | 1・2 | 2   |
|  | ロシア文学特論 I B   | エドアルド・ヴラーソフ<br>(平成29年度休講予定)  | 1・2 | 2   | ロシア文学演習 II A    | 鈴木 淳一<br>(平成29年度休講予定)  | 1・2 | 2   |
|  | ロシア文学特論 II A  | 鈴木 淳一                        | 1・2 | 2   | ロシア文学演習 II B    | 鈴木 淳一<br>(平成29年度休講予定)  | 1・2 | 2   |
|  | ロシア文学特論 II B  | 鈴木 淳一                        | 1・2 | 2   | ロシア文学特殊演習 A     | 鈴木 淳一                  | 2   | 2   |
|  | ロシア文学演習 I A   | エドアルド・ヴラーソフ                  | 1・2 | 2   | ロシア文学特殊演習 B     | 鈴木 淳一                  | 2   | 2   |
| ロシア文化・思想<br>関<br>係<br>分<br>野<br>科<br>目 | ロシア文化・思想特論 A  | 大矢 温                         | 1・2 | 2   | 日ロ関係特論 B        | (平成29年度休講予定)           | 1・2 | 2   |
|  | ロシア文化・思想特論 B  | 大矢 温                         | 1・2 | 2   | ロシア文化・思想特殊演習 A  | 大矢 温                   | 2   | 2   |
|  | 日ロ関係特論 A      | (平成29年度休講予定)                 | 1・2 | 2   | ロシア文化・思想特殊演習 B  | 大矢 温                   | 2   | 2   |

※ 修了要件は英語学専攻・ロシア語学専攻ともに専攻科目4単位及び特殊演習(修士論文指導)4単位を含む32単位以上を修得し、修士論文の合格をもって修了とします。

## ● 講義開講時間

| 1講時        | 2講時         | 3講時         | 4講時         | 5講時         | 6講時         | 7講時         |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 9:00~10:30 | 10:40~12:10 | 13:00~14:30 | 14:40~16:10 | 16:20~17:50 | 18:00~19:30 | 19:40~21:10 |

|         |            |       |   |
|---------|------------|-------|---|
| 英語学分野科目 | 英語学特論ⅠA・B  | 時崎 久夫 | 平成29年度休講  |
|         | 英語学特論ⅡA    | 濱田 英人 | 言語行為は人間の精神活動の重要な一部であり、人間の認識作用と切り離して考えることはできない。この意味で「言語は人間の事態認識(認知プロセス)を反映する」とする認知言語学の言語観は言語をあり様を自然に捉えるものであると言える。この演習ではLangacker(2008)のCognitive Grammar—A Basic Introductionを読み解くことで、認知言語学の基本的な概念や仮定について理解を深め、この言語観に基づき日本語や英語等の個別の言語現象を対照的に分析する基礎を養うことを目的とする。   |
|         | 英語学特論ⅡB    | 濱田 英人 | この演習では言語表現が人間の認識作用を反映しているとする認知言語学の視点から、人間の認識作用と言語の関係について考察する。特に人間の事態認識の在り様とそれを支える概念操作について理解を深めることで、言語分析の基礎を養うことを目標とする。具体的には、人間の事態把握を「知覚」・「認識」の視点から考えると、事態と直接的にインタラクションすることでその事態を把握する場合にはこの「知覚」と「認識」はほぼ同時並行的であるが、我々人間にはその両者を分離する能力が備わっていることも確かである。つまり、メタ認知能力であり、この能力があるからこそ我々は事態を概念世界上で捉えることも可能なのである。この演習では「知覚」と「認識」の並行性/分離の視点から言語現象を捉えることで、そこから見てくる人間の認知操作について考察する。 |
|         | 英語学特論ⅢA    | 後藤 善久 | 以下の3つの統語事象について研究する。それぞれの事象の特徴を理解すると同時に、文献で提案されている代表的な分析方法を考察する。<br>1. 「受動文(Passives)」について名詞句移動による分析方法を考察する。<br>2. 「2重目的語構文(Double Object Constructions)」について2重目的語構文の特徴と与格交替について考察する。<br>3. 「派生名詞(Derived Nominal)」について派生名詞の特徴、動詞と派生名詞の関係について考察する。   |
|         | 英語学特論ⅢB    | 後藤 善久 | 言語を統語的、意味的(語法を含む)、歴史的観点から科学的に研究する方法を学ぶことをテーマに、英語の不定詞構文に焦点を当て、「Aspect」「Event」「動名詞との比較」などの視点から考察する。また、生成文法の枠組みによる動詞の主要部移動の研究として最も重要な論文の1つであるPollock(1989)を取り上げながら、動詞の主要部移動と屈折の統語的特徴および歴史的特徴を考察する。   |
|         | 英語学演習ⅠA    | 時崎 久夫 | 英語形態論研究をテーマとし、英語の語の基本的な仕組みと他部門との関連について理解することで、英語についての考察を深め、さらに問題を見つけて探求して行くことを目標にします。英語形態論の基本から応用までを、英語テキストを読みながら研究します。   |
|         | 英語学演習ⅠB    | 時崎 久夫 | 英語音韻論のうち、音節構造、リズム、強勢、弱化、音調について、英語テキストを読みながら研究します。英語音声学に続く内容で、実践面に加え、理論的な考察をすることで、英語の音の仕組みについて理解を深め、さらに問題を見つけて探求して行くことを目標にします。   |
|         | 英語学演習ⅡA・B  | 濱田 英人 | 平成29年度休講  |
|         | 英語学演習ⅢA・B  | 後藤 善久 | 平成29年度休講  |
|         | 英語学特殊演習A・B |       | この授業は修士論文指導を目的としています。従って、それぞれの教員が指導担当の院生と相談の上、修士論文のテーマにそったテキストを選定し、授業を進めます。各教員のメインになる指導テーマは以下のとおりです。<br>時崎久夫：生成文法、音韻論、統語論<br>濱田英人：認知言語学、意味論<br>後藤善久：生成文法、統語論  |

## 教員紹介



Hideto Hamada

外国語学研究所英語学専攻 教授  
(学系コーディネータ)  
濱田 英人

## 担当科目

英語学特論IIA・B  
英語学演習IIA・B

## 01 プロフィール

1957年 北海道生まれ。北海道大学大学院文学研究科英米文学専攻博士後期課程退学。博士(文学)(金沢大学)。2001~2002年 カリフォルニア大学サンディエゴ校客員研究員。2012-2013年 北海道滝川市「英語コミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組」運営指導委員会委員長。

## 02 研究分野紹介

認知言語学、認知科学が専門分野です。「ことば」を人間の出来事の認識(捉え方)から研究をしています。私達人間はFOXP2という遺伝子が深く関係していると考えられる言語能力と、知覚(主に視覚)作用を通して活性化される認知能力を使って出来事を捉え、それを「ことば」で表現しています。この「ことば」を生み出すメカニズムはすべての言語話者に共通なわけですが、日本語や英語等それぞれの言語に語順や表現方法などの個別の特徴があることも確かです。この個別言語の特徴がどこからくるのかを認知科学の視点から研究しています。

## 03 研究科の特色

本研究科では語学・文学・言語教育・思想を専門とする教員がそれぞれのテーマに従って授業を展開しています。また、英語・ロシア語のネイティブ・スピーカーの教員による授業も複数開講されていますので、外国語を使って専門的な問題を論じるトレーニングもできます。本研究科では教員と院生の距離も近く、アットホームな雰囲気の研究指導を受けることができます。

## 04 院生に大学院生活で得て欲しいこと

大学院では学部で学修したことを基礎として、自分で定めたテーマに従って研究を深めます。修士課程の2年間をいかに充実したものにするかは、研究テーマに真剣に向き合い、幅広い視野から自分なりに納得のいく結論を得られるかどうかにかかっています。また、当然、先行研究でどこまで明らかにされているのかを踏まなければならない。院生のみなさんには、素直な心と豊かな発想で研究テーマと向き合って欲しいと思います。

|          |             |                |  |
|----------|-------------|----------------|--|
| 英米文学分野科目 | 英米文学特論ⅠA・B  | 佐藤 美希          | 平成29年度休講   |
|          | 英米文学特論ⅡA・B  | 豊里 真弓          | テーマは移動と文学。国境や文化を越える移動から生まれた文学において、人と場所はどのように描かれているのだろうか。原書を精読し、作品を比較したい。また、作品理解の助けとなる視点・アプローチについて考えるため、批評書も1冊読む。<br>毎回、テキスト指定範囲を読み、内容の要約と各自のコメントをA4用紙一枚にまとめ、授業にて発表・提出。その後、疑問点の確認とディスカッションを行う。    |
|          | 英米文学特論ⅢA・B  | ウィリアム・グリーン     | 平成29年度休講   |
|          | 英米文学演習ⅠA    | 佐藤 美希          | 翻訳について理論的・体系的に研究するトランスレーション・スタディーズ(翻訳研究)の概説書を英語原文で丁寧に読みながら、文学の翻訳について考える。トランスレーション・スタディーズが持つ問題意識や研究の立脚点について概観した後、文化的・社会的な観点からの翻訳の考察に焦点を当てる。他にも、受講者が自分の関心を持つ観点について各自調べて発表しながら、翻訳についての理解を深める契機としたい。 |
|          | 英米文学演習ⅠB    | 佐藤 美希          | 「英米文学特論ⅠA」で学んだ内容をもとに、受講者の興味・関心に沿って各自文学作品の翻訳について発表する。学んだ理論や概念を使って、各翻訳テキストの特徴やその背景について考える。   |
|          | 英米文学演習ⅡA・B  | 豊里 真弓          | 平成29年度休講   |
|          | 英米文学特殊演習A・B | 佐藤 美希<br>豊里 真弓 | この授業は修士論文指導を目的としています。従って、それぞれの教員が指導担当の院生と相談の上、修士論文のテーマにそったテキストを選定し、授業を進めます。各教員のメインになる指導テーマは以下のとおりです。<br>佐藤美希：イギリス文学(特に19世紀末～)、翻訳研究、比較文学<br>豊里真弓：アメリカ文学、特にマイノリティ文学、環境文学、アメリカ文化                    |

|            |                 |             |   |
|------------|-----------------|-------------|---|
| 英語教育関係分野科目 | 英語教育特論 A        | 担当者未定       |   |
|            | 英語教育特論 B        | 担当者未定       |   |
|            | 英語教育特論 A        | ウィリアム・グリーン  | <p>【授業概要】</p> <p>This course is an introduction to stylistics. We will begin with basic aspects of stylistic analysis, such as foregrounding, deviation and parallelism. We will look at the effects of sound, rhythm and metre in poetry. The course will end with an analysis of the discourse structure of drama.</p> <p>【授業概要】</p> <p>Lesson 1 : Introduction to stylistics<br/> Lesson 2 : An example of stylistic analysis<br/> Lessons 3-5 : Foregrounding, deviation and parallelism<br/> Lessons 6-7 : Style variation in texts<br/> Lessons 8-10 : Sound, meaning and effect<br/> Lessons 11-12 : Rhythm and metre in poetry<br/> Lessons 13-14 : Drama: the conversational genre<br/> Lessons 15 : Review and conclusion<br/> Lesson</p> <p>【成績評価】</p> <p>Students will be evaluated on the basis of a series of essays that they write during the semester.</p>   |
|            | 英語教育特論 B        | ウィリアム・グリーン  | <p>【授業概要】</p> <p>This course will follow on from Part A, beginning with a stylistic study of dramatic texts. We will look at speech acts, turn-taking and politeness, as well as assumptions, presuppositions and the inferring of meaning. The second part of the course will deal with fictional prose, focusing on point of view, speech and thought presentation, authorial style and text style.</p> <p>【授業計画】</p> <p>Lesson 1 : Introduction<br/> Lessons 2-4 : Speech-acts, turn-taking and politeness<br/> Lessons 5-6 : Assumptions, presuppositions and inferring meaning<br/> Lessons 7-8 : Fictional prose and point of view<br/> Lessons 9-10 : Speech and thought presentation<br/> Lessons 11-12 : Prose style<br/> Lessons 13-14 : Bringing it all together<br/> Lesson 15 : Review and conclusion</p> <p>【成績評価】</p> <p>Students will be evaluated on the basis of a series of essays that they write during the semester.</p>  |
|            | 言語教育と機器 A       | フリリップ・ラドクリフ | <p>This course is an introduction to technology in the classroom. We will study ICT Terms and theory and practice for using the Internet for lesson planning and teaching. This includes a wide range of useful technology-related skills and tools which are applicable in the classroom and various approaches to using technology in the classroom, such as planning and designing Treasure Hunts and Web Quests (including rubrics for evaluating students). Students will look at, use, evaluate and review many Net Resources that are designed for teachers and students of the English language. Students will also learn about Cloud Computing and will learn how to find and use valuable teaching tools. In essence, this course will teach where to find online resources that you can use with students or that students can use on their own both in and out of class. Students will be using the Moodle Course Management System (CMS) for the course so that they can have some insight into how their own future students might interact with such a system.</p> |
|            | 言語教育と機器 B       | フリリップ・ラドクリフ | <p>This course is a continuation of 言語教育と機器(A), but with a more hands-on approach to using Course Managements Systems (Moodle) in the classroom. Students will learn how to set up and use Podcasts, and Blogs in e-Learning Environments. This course also deals with applying the emerging technologies of Mobile Learning (mLearning), which includes the use of smart phones, iPads and other wireless devices. Use of other devices, such as IC Recorders and Digital Cameras will also be covered. Moodle will be used as part of a Blended Learning course. Students will learn how to set up a course on Moodle, upload files to the site, enroll students to the course, make quizzes, forums, blogs, wikis, assignments, glossaries, journals, questionnaires and set up grades on the Moodle site. There will be a continuation of reviewing and evaluating relative websites. Students will be expected to design lessons and activities on their Moodle site throughout the course.</p>  |
|            | 英語コミュニケーション演習 A | アラン・ボゼア     | <p>Researching and then writing a thesis in English is an important part of being a graduate student in the English Department. This is a course for those students who want to take their English to a higher level by demonstrating an ability to write their graduate thesis in English. Students will learn principles of academic writing including organizational and research design. While working on the graduate thesis the students will also participate in discussions which will improve critical thinking skills needed to help clarify the research topic.</p>  |
|            | 英語コミュニケーション演習 B | アラン・ボゼア     | <p>This is a course for those students who want to demonstrate their English ability by presenting their graduate thesis in English. This course is a follow-up course to the Writing component (Semester A) of the complete communication course. Students will learn how to present their written research in a formal presentation. All relevant presentation skills (voice inflection, eye contact, gestures, facial expression, pronunciation / intonation, etc.) combined with the well-organized and well-researched written work will be practiced, giving students the ability to give a dynamic presentation.</p>   |

|           |              |                                |   |
|-----------|--------------|--------------------------------|---|
| ロシア語学分野科目 | ロシア語学特論ⅠA・B  | 山田 隆                           | 平成29年度休講  |
|           | ロシア語学特論ⅡA    | 高橋 健一郎                         | 日本語とロシア語の文学作品の翻訳を比較対照し、様々なレベルの言語の差異を理解し、分析する力を養うことを目的とする。具体的には『百人一首』のロシア語訳を一首ずつ仔細に検討し、翻訳によって何が失われたり変容したりしているかを発表し、全員で議論する。  |
|           | ロシア語学特論ⅡB    | 高橋 健一郎                         | 日本語とロシア語の文学作品の翻訳を比較対照し、様々なレベルの言語の差異を理解し、分析する力を養うことを目的とする。具体的には村上春樹の短編作品(『回転木馬のデッド・ヒート』、『レーダーホーゼン』その他)のロシア語訳を仔細に検討し、翻訳によって何が失われたり変容したりしているかを発表し、全員で議論する。   |
|           | ロシア語学演習ⅠA    | ウラジーミル・ジダーノフ                   | ロシアの民族問題に関する論文を精読することによって、アカデミックなロシア語の読解力、聴解力、作文力、および会話力を総合的に向上させると同時に、多民族国家ロシアにおける言語をめぐる問題に対する理解を深めます。春学期にはコーカサス地方、特にチェチェン共和国、およびイングーシ共和国を中心とした民族問題、およびソ連政府による民族政策の変遷について分析します。  |
|           | ロシア語学演習ⅠB    | ウラジーミル・ジダーノフ                   | ロシアの民族問題に関する論文を精読することによって、アカデミックなロシア語の読解力、聴解力、作文力、および会話力を総合的に向上させると同時に、多民族国家ロシアにおける言語をめぐる問題に対する理解を深めます。秋学期には、春学期に引き続きコーカサス地方、特にチェチェン共和国、およびイングーシ共和国を中心とした民族問題、およびソ連政府による民族政策の変遷について分析します。   |
|           | ロシア語学演習ⅡA・B  | ウラジーミル・ジダーノフ                   | 平成29年度休講  |
|           | ロシア語学演習ⅢA・B  | 山田 隆                           | 平成29年度休講  |
|           | ロシア語学演習ⅣA・B  | 高橋 健一郎                         | 平成29年度休講  |
|           | ロシア語学演習ⅤA    | 山田 隆                           | 学部レベルで習得した学校文法では断定的な規則が多用され、他方で、例外規則は極力制限される傾向にあった。しかし、実生活で使われるロシア語テキストにはそれまでの文法規則では説明しきれない現象や変異体が多々見受けられる。この授業ではこのような「ゆれ」を発掘して、語法の多面性、重層性を解明することを目標にしたい。   |
|           | ロシア語学演習ⅤB    | 山田 隆                           | ロシア語学演習ⅤAの継続研究をおこなう。実生活で使用されるロシア語表現には学校文法では説明しきれない現象や変異体に満ちている。授業ではこのような「ゆれ」を発掘して、語法の多面性、重層性を解明する。  |
|           | ロシア語学演習ⅥA・B  | 高橋 健一郎                         | 平成29年度休講  |
|           | ロシア語学特殊演習A・B | ウラジーミル・ジダーノフ<br>山田 隆<br>高橋 健一郎 | この授業は修士論文指導を主たる目的としています。従って、それぞれの教員が指導する院生と相談の上、修士論文のテーマにそったテキストを選定し、授業を進めます。   |
|           | ロシア文学分野科目    | ロシア文学特論ⅠA・B                    | エドアルド・ヴラーソフ   |
| ロシア文学特論ⅡA |              | 鈴木 淳一                          | 「ロシア文学特論ⅡA」では「ロシア文学 特論ⅡB」とともに、アメリカにおけるドストエフスキー文学の受容について考える。「ロシア文学特論ⅡA」では、最初に世界文学としてのドストエフスキー文学について考え、続いてアメリカにおけるドストエフスキー受容史を概観するとともに、ビート・ジェネレーションとドストエフスキー作品の関係に焦点を当てる。リヴオーワの『ドストエフスキーと1940～1960年代アメリカ文学』(2008年、ベトロザヴォーツク)を手掛かりに、ビート・ジェネレーションの文学的特質を概観し、ビート・ジェネレーションにおけるドストエフスキー作品の意義を明らかにするとともに、ジョン・クレロン・ホルムズ(1926-88)の作品『ゴー』におけるドストエフスキーの影響を跡付ける。 |

|                |                  |             |  |
|----------------|------------------|-------------|--|
| ロシア文学分野科目      | ロシア文学特論ⅡB        | 鈴木 淳一       | 「ロシア文学特論ⅡB」では「ロシア文学 特論ⅡA」に引き続き、リヴオーワの『ドストエフスキーと1940～1960年代アメリカ文学』(2008年、ペトロザヴォーツク)を手掛かりに、アメリカのビート・ジェネレー ションにおけるドストエフスキー文学の受容について考える。「ロシア文学特論ⅡB」では、まずジャック・ケルアック(1922-69)のドストエフスキー受容について考察し、続いて1940～1960年代アメリカの未成年を主人公とした文学作品とドストエフスキー作品の関係に焦点を絞り、カーソン・マッカーズ(1917-67)、サリンジャー(1919-2010)、シルヴィア・プラス(1932-63)、フィリップ・ロス(1933-)の作品に対するドストエフスキーの影響について考察する。  |
|                | ロシア文学演習ⅠA        | エドアルド・ヴラーソフ | <b>Задача курса:</b> ознакомление аспирантов с фильмами, поставленными по произведениям русской литературной классики; сравнительный анализ фильма и литературного источника; знакомство с лучшими российскими режиссёрами и актёрами.<br><b>Фильмы (все фильмы - на русском языке, с японскими субтитрами):</b><br>“Война и мир” ( Лев Толстой), Анна Каренина” ( Лев Толстой), “Вий”(Гоголь), Преступление и наказание”(Достоевский), “Обломов”(Гончаров); “Дворянское гнездо” ( Тургенев), “Неоконченная пьеса для механического пианино” ( Чехов).<br><b>Формат занятия:</b> просмотр каждого фильма по частям (40-50 минут), объяснение преподавателя эпизодов и деталей (15-20 минут), обсуждение эпизодов и персонажей (20-25 минут).<br><b>Требование к аспирантам:</b><br>посещение каждого занятия, участие в обсуждении.<br><b>Экзамен:</b> устная беседа на последнем занятии с общим обсуждением просмотренных фильмов.   |
|                | ロシア文学演習ⅠB        | エドアルド・ヴラーソフ | <b>Задача курса :</b> ознакомление аспирантов с лучшими кинокомедиями советского и российского кино; понимание разницы между различными типами комедий (эксцентрическая комедия, комедия-мелодрама, мелодрама с элементами комедии, трагикомедия и т.д.); практические навыки в понимании русского юмора; знакомство с лучшими российскими режиссёрами и актёрами.<br><b>Фильмы (все фильмы -на русском языке, с японскими субтитрами):</b><br>“Москва слезам не верит” (мелодрама с элементами комедии), “Бриллиантовая рука” (эксцентрическая комедия), “Осенний марафон” ( комедия-мелодрама), “Ирония судьбы, или С лёгким паром” (комедия-мелодрама), “Родня” ( мелодрама с элементами комедии), “Концерт” (современная российская комедия).<br><b>Формат занятия:</b> просмотр каждого фильма по частям (40-50минут), объяснение преподавателя эпизодов и деталей(15-20минут), обсуждение эпизодов и персонажей (20-25 минут).<br><b>Требование к аспирантам:</b><br>посещение каждого занятия, участие в обсуждении.<br><b>Экзамен:</b> устная беседа на последнем занятии с общим обсуждением просмотренных фильмов. |
|                | ロシア文学演習Ⅱ A・B     | 鈴木 淳一       | 平成29年度休講   |
|                | ロシア文学特殊演習 A・B    | 鈴木 淳一       | この授業は修士論文指導を主たる目的としています。従って、院生と相談の上、修士論文のテーマにそったテキストを選定し、授業を進めます。  |
| ロシア文化・思想関係分野科目 | ロシア文化・思想特論 A     | 大 矢 温       | 19世紀ロシアの文化・思想状況を現在のロシアとの継承性という文脈で位置づけるために、ロシアにおける民族問題について考える材料としてナショナル・アイデンティティーの形成過程にアプローチする。春学期に開講する「ロシア・思想特論A」においては、チュッチェフ、およびイヴァン・アクサーコフといった19世紀ロシアの汎スラヴ主義のイデオログに関する文献を講読する。   |
|                | ロシア文化・思想特論 B     | 大 矢 温       | 19世紀ロシアの文化・思想状況を現在のロシアとの継承性という文脈で位置づけるために、ロシアにおける民族問題について考える材料としてナショナル・アイデンティティーの形成過程にアプローチする。秋学期に開講する「ロシア・思想特論B」においては、20世紀末から顕著になってきたアレクサンドル・ドゥーギンら「ロシア地政学派」と呼ばれる思想家たちの「ユーラシア主義」に関する文献を講読する。  |
|                | 日ロ関係特論 A・B       |             | 平成29年度休講   |
|                | ロシア文化・思想特殊演習 A・B | 大 矢 温       | この授業は修士論文指導を主たる目的としています。従って、それぞれの教員が指導担当の院生と相談の上、修士論文のテーマにそったテキストを選定し、授業を進めます。   |

## ●英語学専攻

## 【平成13(2001)年度】

- 色彩語句の日英比較  
—日本古典文学に表れた色彩語の英語訳に関して—
- 転換について
- テニソンの『国王の物語詩』におけるケルト的シンボル
- PREPOSITION STRANDING  
—strandabilityとunstrandabilityの決定要因
- 米英俗語表現における動物表現の分析  
～日本語における俗語(ギャル語)との比較～

## 【平成14(2002)年度】

- The Sensory Verd Construction and the Japanese 'mono-koto'  
Construal:A Cognitive Grammar Approach.
- The Bare Noun and the Noun with a Definite Article
- Woman's perspective in Paradise  
—Reconstruction of the world perception

## 【平成15(2003)年度】

- 関係代名詞の特性
- 「老水夫の歌」研究
- The Love of Mother in *The Bluest Eye*
- 感情を表す形容詞 Happy and Glad  
Happy for you, Glad for me
- The English Tenses And Conceptualization of Events
- The Interpretation of the *Ing-From*
- 現在完了形における時間的空間の認識
- 『グレート・ギャッツビー』  
—地域性の相違とアメリカの夢
- 英語の定冠詞
- 名詞転換動詞の考察
- 英語における倒置構造
- Toni MorrisonのParadiseに描かれているparadiseの意味について

## 【平成16(2004)年度】

- メタファー解釈と認識
- The Cognitive Network Of Grammatical Constructions in English  
—A Case of Resultative Construction—
- 中学校における Graded Direct Method の活用について

## 【平成17(2005)年度】

- AN ANALYSIS OF POSSESSIVE GENITIVES, POSSESSIVE COMPOUNDS AND NOMINAL COMPOUNDS IN ENGLISH FROM THE VIEWPOINT OF ICONICITY
- 数量表現と句動詞における統語構造の再分析
- 中高年向け会計職域のESPコースデザインの一試案—EPAP コースデザイン設計の試み—

## 【平成18(2006)年度】

- シェイクスピアへの認知的アプローチ  
—ロミオとジュリエットにおける概念メタファーの考察—

## 【平成19(2007)年度】

- 『ピラヴド』におけるセスの再生とアメリカ再生の希望
- "WHAT"の認知構造と文法化
- Duality in China Men

## 【平成21(2009)年度】

- 『ウォールデン』における文明と自然および個人
- 現在完了の認知プロセス

## 【平成22(2010)年度】

- 鳥かごの中のホリー  
—『ティファニーで朝食を』から見えるアメリカ社会—
- ANYの意味論
- 多義語と比喩 —日英語の身体部位語を中心に

## 【平成23(2011)年度】

- 大母音推移とその原因
- 認知モードと言語表現  
—日英語の敬語表現を中心に—

## 【平成24(2012)年度】

- 反語命令の適用 日英語話者の事態把握と「(反語)命令文」の認知語用論研究
- Conceptual Differences between the English 'be-Ving' and the Japanese 'Vte-iru'  
—from a Cognitive Perspective.—

## 【平成25(2013)年度】

- 中間構文における認知機能  
—英語中間構文の容認性に関わる「比較対象」の概念—
- 知覚動詞構文におけるtoの意味機能について

## 【平成26(2014)年度】

- Semantic-pragmatic Analysis of Japanese Case Markers 'Wo' and 'De'

## 【平成27(2015)年度】

- Typological Study on Onomatopoeia

## ●ロシア語学専攻

## 【平成13(2001)年度】

- ロシアのことわざ(動物、鳥編)

## 【平成14(2002)年度】

- 『悪霊』論
- 『桜の園』における感情表現
- ロシア語小詞(частица)「же」と「ведь」について  
主に話者の感情(эмоция)を中心にした考察

## 【平成15(2003)年度】

- 『サハリン島』研究
- アンナ・カレーニナにおける「茶」の概念について

## 【平成16(2004)年度】

- プーシキンと「愛」
- 日本語の移動動詞「行く」「来る」とロシア語の運動動詞の対照研究

## 【平成18(2006)年度】

- ロシアサーカスとソヴィエト政権  
—10月革命後の変容
- 世界における蛇の文化的意味と民話を通して見たロシア人の蛇観

## 【平成19(2007)年度】

- 文法用語を使わないロシア語の教科書を目指して

## 【平成20(2008)年度】

- チェブラーシュカ  
～ロシアの国民的人気者～

## 【平成21(2009)年度】

- 日露オノマトベ比較
- ロシア音楽の創始者ボルトニャンスキー
- 現代ロシア政治分析  
—発足当初のメドヴェージェフ政権—

## 【平成23(2011)年度】

- ドストエフスキー初期作品における自然
- 日露両国間における相互のステレオタイプ

## 【平成24(2012)年度】

- ロシア正教における精進料理の基礎研究
- ニコライ・レーリヒの生涯と作品
- 日本とロシアの命名と名前の扱い方に表れる文化的要素と国民性
- 日本語オノマトベのロシア語訳について

## 【平成25(2013)年度】

- 北カフカスにおけるロシアの民族政策と、民族間関係に与えた影響